

|| 企業調査レポート ||

ハマキョウレックス

9037 東証プライム市場

[企業情報はこちら >>>](#)

2024年7月9日(火)

執筆：客員アナリスト

水野文也

FISCO Ltd. Analyst **Fumiya Mizuno**



FISCO Ltd.

<https://www.fisco.co.jp>

業績動向

過去最高値を更新中、19期連続の増配目指す

ハマキョウレックス <9037> は、独立系の 3PL（企業の物流を包括的に受託する、言わば物流のアウトソーシング）の大手である。同社は 1971 年静岡県浜松市で設立した。以降は急速な成長を遂げ、現在は全国及びインドなどの海外に拠点がある。業界では物流を含めた総合的な事業体制見直しが進行するなか、3PL のニーズは年々高まりつつある状況だ。2024 年 3 月期のセグメント別営業収益構成比は、物流センター事業が 64.0%、貨物自動車運送事業が 36.0% の比率である。

1. 2024 年 3 月期連結決算

2024 年 3 月期連結決算は、営業収益が前期比 6.6% 増の 140,572 百万円、営業利益が同 8.8% 増の 12,569 百万円、経常利益が 6.7% 増の 13,136 百万円、親会社株主に帰属する当期純利益が同 12.2% 増の 8,305 百万円となり、すべての項目で過去最高を更新した。

物流センターの新規稼働や M&A 効果などによって着実に営業収益を伸ばした。利益面では、物流センター事業において物流センター運営の充実及び新規に受託したセンターが順次業績に寄与した結果、各利益は増益となった。

物流センター事業のセグメント利益は、前期比 6.3% 増の 10,641 百万円と増益となった。同社の物流センター数は 186 センターへ拡充した。内訳は自社センターが 57、借用センターが 129 である。新たに受託した 16 社の案件以外にもビジネスとして進めている新規案件が多数存在しており、成長余地が大きい。同社は京阪久宝ホールディングス（株）、サカイグループ（株）サカイアゼットロジ、（株）サカイ産業運輸、（株）サカイファルコン、（株）アイアール、（株）アイアール北斗、（株）サカイ産業静岡を 2023 年 7 月に子会社化した。今後も物流センター事業では、こうした M&A も含めて顧客のニーズに沿う形で物流センターの強化に努める考えだ。

貨物自動車運送事業のセグメント利益は、同 25.8% 増の 1,923 百万円と大幅増益を確保した。新型コロナウイルス感染症の拡大以降はしばらく減益を余儀なくされていたものの、5 期ぶりに回復に転じた。これまで貨物自動車運送事業の伸び悩みを物流センター事業の好調がカバーしていたが、2024 年 3 月期は両事業とも貢献した格好となった。なお、燃料費の収益に及ぼす目安はリッター当たり 1 円の変動で、約 39 百万円の利益変動要因になるという。貨物自動車運送事業においても、2023 年 4 月に（株）山里物流サービスを子会社化し、M&A にてスケールメリットを追求している。

ハマキョウレックス | 2024年7月9日(火)
 9037 東証プライム市場 | <https://www.hamakyorex.co.jp/ir/>

業績動向

財務面では、有利子負債が前期末の21,700百万円から23,512百万円に増加した。M&Aの影響で全体としては増加したが、引き続き子会社の近物レックス(株)の借入金に関しては返済を進めていくとしている。2024年3月期末時点の自己資本比率は54.2%と前期の54.1%からわずかに改善した。全体として、財務体質は良好と言える。

2024年3月期の業績概要

(単位：百万円)

	23/3期	24/3期	前期比	
			増減額	増減率
営業収益	131,912	140,572	8,660	6.6%
営業利益	11,548	12,569	1,021	8.8%
経常利益	12,306	13,136	830	6.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	7,400	8,305	905	12.2%
EPS (円)	393.92	442.57	48.65	-

出所：決算短信よりフィスコ作成

2. 2025年3月期業績予想

2025年3月通期連結の業績予想は、営業収益が146,000百万円(前期比3.9%増)、営業利益が12,900百万円(同2.6%増)、経常利益が13,800百万円(同5.1%増)、親会社株主に帰属する当期純利益が8,600百万円(同3.6%増)と増収増益を見込み、2024年3月期に続いて営業収益・各段階利益は過去最高益の更新を想定している。

物流センター事業は、2025年3月期に15センターの新規獲得を目指す考えである。3PLに関しては引き続きニーズが強いいため、今後も成長が期待される。貨物自動車運送事業はドライバーの労働環境改善に努めるとともに、人件費を吸収するため運賃は正に積極的に取り組む考えだ。

2025年3月期の業績予想

(単位：百万円)

	24/3期 実績	25/3期 予想	前期比	
			増減率	増減額
売上収益	140,572	146,000	3.9%	5,428
営業利益	12,569	12,900	2.6%	331
経常利益	13,136	13,800	5.1%	664
親会社株主に帰属する 当期純利益	8,305	8,600	3.6%	295
EPS (円)	442.57	458.25	-	15.68

出所：決算短信よりフィスコ作成

■ 中期経営計画

2027年3月期に営業収益161,000百万円、 経常利益15,600百万円を目指す

同社は2027年3月期を最終年度とする中期経営計画を進めている。計画の目標値は営業収益161,000百万円、経常利益15,600百万円、親会社株主に帰属する当期純利益9,650百万円、1株当たり当期純利益（EPS）514.20円、営業収益経常利益率9.7%を掲げた。設備投資は12,000百万円を計画している。

基本的な戦略は、3PL事業を軸とした展開となる。主な施策として積極的な設備投資による自社センターの建設や人手不足の解消、さらなる生産性向上に向けた物流ロボットの導入による一部入出荷作業の省人化、カメラ認証技術、自動搬送ロボットの活用などを推進する。貨物自動車運送事業では、近物レックスのターミナルを活用した物流センターの拡充を進めるほか、労働環境改善のための運賃是正を今後も推進する。新規顧客獲得に向けた取り組みとしては、物流センター事業で目標年間受託件数を15社とする。海外戦略としては、国内の顧客満足度を向上させるため、ニーズに応じた海外展開を図る。

■ 株主還元

2025年3月期の配当金は19期連続増配を見込む

株主還元に関しては、2024年3月期は25円増配し年120円の配当としたが、2025年3月期も増配を見込んでいる。同社は2024年10月1日を効力発生日として1対4の割合で株式分割を行い、1株当たり期末配当金は18.75円を予定している。株式分割を考慮しない場合の1株当たり期末配当金は75円となり、年間配当金は140円を見込む。これが実現すれば、19期連続の増配となる。株式分割考慮前の配当性向は計画どおりなら30.6%に向上し、これまでの目標だった配当性向30%を達成する。これによって、投資しやすい環境を整え、投資家層の拡大を目指す。

重要事項（ディスクレマー）

株式会社フィスコ（以下「フィスコ」という）は株価情報および指数情報の利用について東京証券取引所・大阪取引所・日本経済新聞社の承諾のもと提供しています。

本レポートは、あくまで情報提供を目的としたものであり、投資その他の行為および行動を勧誘するものではありません。

本レポートはフィスコが信頼できると判断した情報をもとにフィスコが作成・表示したのですが、フィスコは本レポートの内容および当該情報の正確性、完全性、的確性、信頼性等について、いかなる保証をするものではありません。

本レポートに掲載されている発行体の有価証券、通貨、商品、有価証券その他の金融商品は、企業の活動内容、経済政策や世界情勢などの影響により、その価値を増大または減少することもあり、価値を失う場合があります。本レポートは将来のいかなる結果をお約束するものでもありません。お客様が本レポートおよび本レポートに記載の情報をいかなる目的で使用する場合においても、お客様の判断と責任において使用するものであり、使用の結果として、お客様になんらかの損害が発生した場合でも、フィスコは、理由のいかんを問わず、いかなる責任も負いません。

本レポートは、対象となる企業の依頼に基づき、企業への電話取材等を通じて当該企業より情報提供を受けて作成されていますが、本レポートに含まれる仮説や結論その他全ての内容はフィスコの分析によるものです。本レポートに記載された内容は、本レポート作成時点におけるものであり、予告なく変更される場合があります。フィスコは本レポートを更新する義務を負いません。

本文およびデータ等の著作権を含む知的所有権はフィスコに帰属し、フィスコに無断で本レポートおよびその複製物を修正・加工、複製、送信、配布等することは堅く禁じられています。

フィスコおよび関連会社ならびにそれらの取締役、役員、従業員は、本レポートに掲載されている金融商品または発行体の証券について、売買等の取引、保有を行っているまたは行う場合があります。

以上の点をご了承の上、ご利用ください。

■お問い合わせ■

〒107-0062 東京都港区南青山 5-13-3

株式会社フィスコ

電話：03-5774-2443（IR コンサルティング事業本部）

メールアドレス：support@fisco.co.jp